

柄本明 ひとり芝居 風のセールスマン

作・別役実

演出・柄本明

虚空を喜劇する

かねてより柄本明氏とは、一度仕事をしたいと考えていた。故・三木のり平氏と仕事をさせていただき、その舞台における独特の存在感というものを体験させられて以来である。つまり、氏が虚空にたたずまうこと自体がおかしいのであり、喜劇なのであり、この舞台上の稀有のありようを引き継ぐものは、柄本明氏以外あり得ないと考えたからである。「虚空を喜劇する」という、やや舌足らずな言い方で、氏とはじめての共同作業としたいと考えている。

別役 実

風に飛ばされる 紙くずのように

街から街を渡り歩く男

売っているのは水虫防止付き靴底シート

ところで或る日 或る街で 男は突然決心する

流れるのをやめて住まおうと と

住まうための男の悪戦苦闘が始まるが……

別役実 × 柄本明

Kaze no salesman